

事業番号	15 03 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	高等学校学びの支援事業費	部局	教育員会事務局	課・室	高校教育課	
		実施期間	S27 ~	E-mail	koko @ pref.nagano.lg.jp	

### 1 現状と課題

・国内外の大きな社会変動による先行きの不透明な時代を生き抜くためには、自ら問題を発見し、答えを生み出し、新たな価値を創造していくための資質・能力が必要であるという背景のもと、学習指導要領改訂、高大接続改革により、高等学校教育の転換が求められている。また全国的に少子化が進行しており、長野県においても同様の傾向が見られ、今後も長期的に子どもの減少は続く見通しである。

・授業や日常生活に支障のある帰国子女や外国籍の要支援生徒に対しては、専門性の高い知識を有した外部人材等による適切な支援が必要とされている。

### 2 事業目的

・長野県の高校教育として多様な学びの場と学びの仕組みを用意し、全ての高校がこれからの時代に必要とされる新たな学びに転換することによって、全ての生徒が自ら夢を見つけ、夢に挑戦する学びの実現を目指す。また、新たな学びを支える環境づくりを推進し、各校の規模や特色を生かして、活力の維持と学びの質の向上を図る。

・要支援生徒が在籍する場合において、校内相談、支援体制を構築・拡充し、授業や日常生活へのより速やかな適応を図る。

### 3 事業目的を達成するための取組

- ① 県立高校の施設の充実・整備**
- ・県立高校に通う生徒が安心して快適な学校生活を送ることができるよう、校舎等の老朽化対策やZEB化、トイレの環境改善、実習・実験設備の更新などの県立高校の施設整備を計画的に実施。
- ② 時代に合わせた県立高校の教育環境づくり**
- ・「高校改革～夢に挑戦する学び～再編・整備計画」で決定した再編統合新校の目指す学校像や教育方針など、「新たな高校づくり」を地域と協働して推進するとともに、これからの時代にふさわしい学びや学習空間を学校や地域と共に検討し、「新しい学び」に対応した学校づくりを実施。
- ・【新】県立高校の入学者選抜業務の効率化を図るため、電子採点システムの導入による業務のデジタル化を実施。
- ③ 学習に困難を抱える生徒への支援の充実**
- ・外国籍生徒や帰国子女、定時制・通信制課程の生徒、障がいある生徒などの県立高校における授業や日常生活の面で支援を必要とする生徒に対し、安心して学べる環境を提供。

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↑:改善 ↓:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	トイレの洋式化率	%	46.2	52.0	↑	54.2	↑	57.4		R8年度までの整備計画の中で各年度の洋式化率を目標とする。	
②	全県立高等学校のうち、1月あたりの時間外勤務時間（各月平均時間）が45時間以下の学校数の割合	%	67.0	68.0	↑	69.5	↑	71.1		入学者選抜事務のDX化により前年度を上回る71.1%を目標とする。	
③	日本語支援生徒のアンケート満足度「助かっている」の回答率	%	90.5	91.7	↑	83.3	↓	90.0		R5年度と同様の支援を行うため、前年同水準以上を目標とする。	

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	学校の教育活動全般に対する生徒(高校生)の満足度	%	2020 (R2)	84.2	2021 (R3)	84.3	2022 (R4)	85.3	2027 (R9)	84.3

### 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	予算案	1,421,761		1,421,761	633,220		19.2
	要求	2,266,370		2,266,370	823,829		
R5年度	0	1,127,821	130,043	1,257,864	614,209		19.2
R4年度	2,448,041	706,961	27,290	3,182,292	1,425,026	1,388,039	19.2
予算要求からの 主な変更点	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子採点システム導入事業について、「全校一斉導入」を「一部学校の試行導入」へ変更し事業費を減額</li> <li>高等学校長野スクールデザイン（NSD）実施事業について、施設整備基本計画策定に係る技術者単価等の見直しにより事業費を減額。</li> <li>県立高校再編実施計画検討事業について、「新校再編実施計画懇話会」の開催回数を見直し事業費を減額</li> </ul>						

事業番号	15 03 01	<b>細事業一覧（令和6年度実施事業分）</b>	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	<b>高等学校学びの支援事業費</b>		部局	教育員会事務局	課・室	高校教育課

細事業 No.	細事業名		R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
<b>1</b>	<b>経常運営費</b>		256,527 千円	724,788 千円	予算案 647,430 要求 768,326 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県立高校学習環境改善事業	直接	トイレについて、和便器の洋式化、床の乾式化、衛生器具の更新等を実施 整備対象 75部屋		
2	高等学校長野スクールデザイン（NSD）実施事業	委託	これからの新しい学びを支える学習空間デザインやZEB化を実現するため、統合新校の施設整備を、基本計画策定の段階から専門家の知見を活用し実施 計画策定対象 4校		
3	県立高校再編実施計画検討事業	直接	統合新校の目指す学校像や教育方針などを地域と協働し検討するための「新校再編実施計画懇話会」の開催 統合新校ごとの懇話会開催回数 4回以上		
4	学校と社会をつなぐ連携コーディネーター配置事業	直接	【拡】社会に開かれた学校で生徒自らが問いを立て、多様な他者と協働し課題に取り組める環境を整備するため、学校と社会をつなぐ連携コーディネーターを配置。（令和5年度に開催した有識者によるWGの議論を踏まえコーディネーターを2名から4名に増員） 連携コーディネーターの配置 4名		
5	聴覚障がいのある生徒を支援する遠隔パソコン文字通訳システム活用事業	直接	聴覚障がいのある生徒の学びをサポートするため、遠隔パソコン文字通訳システムによる要約筆記を委託により実施 要約筆記延べ時間数 320時間		
6	電子採点システム導入事業	直接	【新】県立高校の入学者選抜における採点業務をデジタル化し、業務の効率化を図るとともに、正確な採点業務に繋げる。 一部の県立高校で試行導入		

細事業 No.	細事業名		R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
<b>2</b>	<b>理科教育設備・産業教育設備整備事業費</b>		285,325 千円	282,523 千円	予算案 291,099 要求 291,099 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	理科教育設備整備	直接	理科教育のための実験・実習設備の整備、老朽化した設備の更新 整備対象 42校		
2	産業教育設備整備	直接	産業教育のための実験・実習設備の整備、電子計算組織等のリース・運用 設備更新 10校		

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
3	特色ある学科設置事業費	115,939 千円	101,217 千円	予算案 95,317 要求 95,317 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	特色学科の設置・運営	直接	特色学科を運営するための外部講師の招聘、運営システムの導入、外部実習の実施等 設置数 13校10学科	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
4	高等学校再編施設整備事業費	0 千円	0 千円	予算案 379,588 要求 1,103,301 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	高等学校再編施設整備事業	委託	再編・統合予定の高等学校において、令和4年度から実施しているNSDプロジェクトの取組を踏まえた設計業務を進めるとともに、校舎の工事に着手 整備対象 2校	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
5	日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業費	3,127 千円	3,127 千円	予算案 3,158 要求 3,158 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業費	直接	外国籍生徒や帰国子女の高校生活をサポートするための生活支援相談員を配置 配置延べ時間数 1,030時間	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
6	定時制課程運営費	3,654 千円	3,780 千円	予算案 3,813 要求 3,813 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	教育設備充実事業	直接	定時制課程の運営にかかる消耗品の購入及び施設の整備 整備対象 1校	
2	定時制課程教科書購入費補助事業	直接	夜間定時制課程に修学している生徒を支援するため、対象となる生徒に対し、教科書購入費を補助 補助対象 16校	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
7	通信制教育運営費	1,361 千円	1,185 千円	予算案 1,356 要求 1,356 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	通信制生徒子弟託児事業	直接	通信制課程の生徒がスクーリングに出席できるように託児所を開設 保育士の配置 2校4名分	
2	通信制課程教科書購入費補助事業	直接	通信制課程に在籍する生徒のうち、一定の要件を満たす生徒へ教科書購入費を補助 補助対象 2校	